




代表質問通告書一覧（3月1日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(13番) 伊藤 将也 (自由民主党・ 無所属の会) 【一括質問】</p>	<p><b>1 新年度予算案について</b></p> <p>山下知事は、県民が豊かな暮らしを実感できるために、新年度、令和6年度予算案について、どのような方針を持って編成されたか。予算案を組む過程、プロセスなども踏まえた上で、丁寧な説明を伺いたい。また、重点を置いた政策や分野に、どのようなものがあるのか、その必要性も伺いたい。</p> <p><b>2 県民の暮らしを守ることや防災について</b></p> <p>(1) 五條市に計画される防災拠点、県議会、地元・五條市、さらには、国、大学の教授、研究者といった専門家を交えて、最悪の事態を想定し、議論を深め、人々の命を救うための、最善の整備のあり方を考えなければならない。知事の考えを伺いたい。</p> <p>(2) さらに、防災を盾にしたメガソーラー整備は、県民の理解を得られておらず、到底、容認できるものではない。蓄電池や水素の、利用と活用についても、需要は非常に低く、その実現を主張するなら、明確な根拠を持って説明願いたい。</p> <p><b>3 まちづくりやスポーツ施設の整備について</b></p> <p>子どもたちの夢や地域の未来などを考えた上で、スポーツ振興をどのように考え、計画を立てようとしているのか、山下知事のビジョンを伺う。また、国民スポーツ大会などに向けた、県立榎原公苑のリニューアルについては、山下知事の一方向的な考えが先行している。さらなる議論が必要であり、特に、新たに整備する施設の「規模」や「内容」と、改修と判断した施設の「内容」、その「費用対効果」などを具体的に説明願いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
 <p>(28番) 小林 誠 (日本維新の会) 【一括質問】</p>	<p><b>1 県民の命と財産を守るための防災力の強化について</b></p> <p>五條市の県有地について、当初の大規模防災拠点を見直し、ヘリポートや防災備蓄倉庫を整備することとした経緯と、今後どのように地元や県民の理解を得ていくのか、知事の所見を伺いたい。また、県立橿原公苑を新たに中核的広域防災拠点として位置づけることにより、どのように防災力を強化していくのか。</p> <p><b>2 大阪・関西万博に向けた奈良県の取組について</b></p> <p>(1) 世界各国の文化を身近に体験できる貴重な機会であり、多くの県民の参加を期待している。県民や事業者の参加につながる機運醸成に向けてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 大阪・関西万博を一過性のイベントとするのではなく、奈良県の産業と観光の振興につながるよう取り組んでいく必要があると考えるがどうか。</p> <p><b>3 今後の奈良県の観光戦略について</b></p> <p>関西広域連合への全部参加などを契機に、奈良県の観光戦略の見直しが必要と考えるが、観光戦略本部においてどのように議論し、観光振興に取り組んでいくのか。</p> <p><b>4 国スポ・全スポに向けた取組について</b></p> <p>(1) 県立橿原公苑のリニューアルについては、誰もが快適に活用できる施設となるよう整備すべきと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 国スポ・全スポを契機に、選手や指導者などの人材育成、県内のスポーツ振興に取り組むことが重要であると考えがどのように進めていくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
<p>(28番) 小林 誠 (日本維新の会)</p>	<p><b>5 学校現場における働き方改革と教職員が子ども達と向き合うための時間確保への取組について</b></p> <p>新年度から「教師にゆとりを！子供に笑顔を！プロジェクト」が始まるが、教員が子ども達と向き合う時間の確保も重要である。このためにも、学校における働き方改革を一層進める必要があると考えるが、知事は、令和6年度予算においてどのように措置しようと考えているのか。</p> <p><b>6 次なる新興感染症への備えについて</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、次なる新興感染症に備えることが重要であると考えますが、特に医療機関と連携した医療体制の確保や保健所機能の充実などを含め、県はどのように取組を進めていくのか。</p> <p><b>7 県立高校入試における障害のある生徒への配慮について</b></p> <p>医療的ケアを必要とする生徒を含め、障害等のある生徒の県立高校入試における配慮の状況はどうか。今後の見通しも含めて伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>医療政策局長</p> <p>教 育 長</p>
 <p>(14番) 藤田 幸代 (公明党) 【一括質問】</p>	<p><b>1 発達障がい児・者への支援について</b></p> <p>発達障がい児・者の現状について、知事はどのように認識しているのか。また、令和6年度の支援の取組と、今後の支援のあり方についてどのように考えているのか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(14番) 藤田 幸代 (公明党)</p>	<p><b>2 困難な問題を抱える女性への支援について</b></p> <p>(1) 知事は、複雑化・多様化する女性が抱える困難さについてどのように認識し、女性への支援体制を強化・確保していくのか。</p> <p>(2) 女性自立支援施設は全国40都道府県で設置済みだが、本県には未設置である。女性の自立を支援するために、本県でも設置が必要な施設と考えるがどうか。</p> <p><b>3 地域包括ケアシステムの取組について</b></p> <p>団塊の世代すべてが後期高齢者となる2025年を目前に控え、現在、第9期介護保険事業支援計画の策定が進められているが、地域包括ケアシステムの構築に向けた県内市町村の現状やこれまでの取組を踏まえ、今後の課題にどのように対処し、市町村を支援していくのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p><b>4 高等学校授業料等の無償化について</b></p> <p>(1) 知事は、高等学校授業料等の無償化を進めているが、今回拡充した制度により、公立・私立のバランスの取れた教育の振興をどのように図っていこうと考えているのか。</p> <p>(2) 今回の高等学校授業料等への支援の大幅な拡充が、県内の公立高校や私立高校に大きな影響を与えることを踏ましつつ、年収の目安が910万円以上の世帯の生徒や、県外の高校等に通学する生徒への制度の拡大について、どのように考えているのか。</p> <p><b>5 南部・東部地域における災害等への対応について</b></p> <p>能登半島地震の被害状況を踏まえ、南部・東部地域の孤立集落が発生した場合の支援について、今後どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(14番) 藤田 幸代 (公明党)</p>	<p>6 県庁における障がい者雇用の促進について</p> <p>(1) 教育委員会においては、障がい者の法定雇用率が達成できていない状況にあるが、達成に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 知事部局においては、障がい者を対象とした職員採用試験の年齢要件緩和や、知的障がい者の受け入れ拡大など、障がい者雇用を一層進める必要があると考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>教 育 長</p> <p>総 務 部 長</p>